

港区まちづくり マスタープラン

意見交換会ニュース vol.1

赤坂地区

令和7年8月

赤坂地区で意見交換会を開催しました

社会経済状況など、港区を取り巻く環境が大きく変化していることから、区では「港区まちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定に当たっては各地区(芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区)で意見交換会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。令和7年7月17日には、赤坂地区の意見交換会を開催しました。



まちづくりマスタープランとは

港区のおおむね20年後を見据えた、まちの将来像、まちづくりの方針や取組等の考え方を示す計画です。都市計画に関する土地利用や道路・公園の整備などハード分野を中心に、防災、環境、国際化、観光、福祉、子育て、環境、文化、健康増進など幅広くソフト分野の視点を取り入れて、まちづくりの方向性を示します。

区民意見交換会

区民意見交換会は、地域の実情等をお聞きするとともに、地域の魅力・地域が抱える課題や将来ビジョンについてお伺いし、把握することを目的に開催します。ご意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランにつなげていきます。次回意見交換会は、12月頃に開催予定です。



当日は、区より、マスタープランの概要や地区の現況等について紹介の後、「地区の魅力」「地区の課題」について意見交換しました。主な意見を次頁にまとめています。

当日の主なご意見

ー 赤坂地区の魅力と課題について、ご意見をいただきました ー

土地利用・活用

開発と住宅環境の両立が重要

- 赤坂Bizタワー、赤坂サカスなどがあり、地区のブランド力は高いと感じる。一方でどこのまちにもあるような高層ビルが乱立する画一的な開発にはならないよう注意してほしい。

道路・交通

交通利便性が高いまち

- 千代田線、丸ノ内線、銀座線があり、すぐに色々な駅に行くことができるので、利便性が高いと感じる。

渋滞や路上駐車への対策が必要

- 道路が混雑している日とそうでない日の差が極端に感じる。特に昼、夕方の交通量が多い。
- 高橋是清翁記念公園の周辺など、トイレがある場所の周辺で路上駐車がが多いように感じる。
- 乃木坂駅は周囲に車を止めることができるスペースが無いので、路上駐車や、タクシーなどの送迎車が多く、混雑の原因になると感じる。
- 赤坂通りは荷捌きのためにガードレールが切れている場所が多い。切れ目から人が横断するため危険だと感じる。

安全な歩行空間の整備

- 通り抜けの車が多く、歩行者が危ない。特に子どもにとって危険と感じる。
- 赤坂通り以外の通りは転びそうになることがある。フラットな歩行空間を整備してほしい。

緑・水

街なかの緑を増やして欲しい

- 明治神宮外苑の高木は、地域の魅力だと感じる。
- 街なかの緑が少ないように感じる。また、緑として芝生のみを整備するのではなく、高木を植えて、木下で憩える場所の整備が必要である。

低炭素化

環境にやさしい移動手段の整備

- EV車の普及促進や充電施設の整備をより進めた方がよい。

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

生活利便施設が不足している

- コロナ禍で飲食店が減った。特に、赤坂地区の魅力の一つである個人経営や高級な飲食店が減少してしまった。

地域コミュニティの交流の減少

- 地域のお祭りなどコミュニティの活動に関わる人数が減少している。氷川神社を境目として、お祭りの盛り上がり方に地域差があるように感じる。
- 赤坂通りを境目として、南北エリアの間の交流が少ないように感じる。

国際化・観光・文化

観光客の増加

- 外国人の観光客が増えたことは魅力と感じる。
- 乃木神社でのファンの巡礼など、以前と異なる形の観光が増えた。

国際対応が課題

- 外国人観光客の増加に伴った民泊等のルール整備が課題。
- ごみ集積場の利用ルールを多言語表示して徹底してほしい。
- 避難場所の案内やハザード関連ガイドなどを、多言語で設置した方がよい。

